

S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

《月報》
平成19年9月
(第36～39週)

発行年月日:平成19年(2007年) 10月17日
発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といえます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 19年				平成 18年				感染症 類型	疾 病 名	平成 19年				平成 18年			
		1～8月		9月		1～12月		1～12月				1～8月		9月		1～12月		1～12月	
		滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国			滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	四類	東部ウマ脳炎 ^(*)	0	0	0	0	-	-				
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0					
	痘そう	0	0	0	0	0	0	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0					
	南米出血熱 ^(*)	0	0	0	0	-	-	日本紅斑熱	0	37	0	16	0	45					
	ペスト	0	0	0	0	0	0	日本脳炎	0	1	0	2	0	7					
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0					
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0					
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	鼻疽 ^(*)	0	0	0	0	-	-					
	結核 ^(*)	113	8,616	16	1,610	-	-	ブルセラ症	0	1	0	0	0	5					
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	ベネズエラウマ脳炎 ^(*)	0	0	0	0	-	-					
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	ヘンドラウイルス感染症 ^(*)	0	0	0	0	-	-					
三類	コレラ	0	10	0	0	1	47	発しんチフス	0	0	0	0	0	0					
	細菌性赤痢	2	349	0	34	26	483	ボツリヌス症	0	2	0	0	0	2					
	腸管出血性大腸菌感染症	31	2,784	13	618	54	3,910	マラリア	1	33	0	4	0	61					
	腸チフス	0	26	0	8	0	72	野兔病	0	0	0	0	0	0					
四類	パラチフス	0	10	1	5	0	24	ライム病	0	4	0	5	0	13					
	E型肝炎	0	39	0	4	2	70	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0					
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	リフトバレー熱 ^(*)	0	0	0	0	-	-					
	A型肝炎	0	108	0	8	21	316	類鼻疽 ^(*)	0	0	0	0	-	-					
	エキノコックス症	0	12	0	1	0	20	レジオネラ症	6	402	0	69	11	508					
	黄熱	0	0	0	0	0	0	レプトスピラ症	0	10	0	8	0	24					
	オウム病	0	23	0	2	0	22	ロッキー山紅斑熱 ^(*)	0	0	0	0	-	-					
	オムスク出血熱 ^(*)	0	0	0	0	-	-	五類	アマーバ赤痢	9	531	0	56	8	738				
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	ウイルス性肝炎	1	155	0	17	0	275					
	キャサナル森林病 ^(*)	0	0	0	0	-	-	急性脳炎	2	160	0	16	1	160					
	Q熱	0	3	0	1	0	2	クリプトスポリジウム症	0	5	0	1	0	14					
	狂犬病	0	0	0	0	0	2	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	97	1	13	0	177					
	コクシジオイデス症	0	3	0	0	0	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	68	0	9	6	107					
	サル痘	0	0	0	0	0	0	後天性免疫不全症候群	6	961	0	120	8	1,301					
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	ジアルジア症	0	34	1	4	1	87					
	西部ウマ脳炎 ^(*)	0	0	0	0	-	-	髄膜炎菌性髄膜炎	0	12	0	1	0	14					
	ダニ媒介脳炎 ^(*)	0	0	0	0	-	-	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0					
炭疽	0	0	0	0	0	0	梅毒	0	446	0	66	4	625						
つづが虫病	0	95	0	2	0	397	破傷風	0	64	0	7	1	115						
デング熱	1	51	0	20	0	57	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0						
							バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	48	0	7	0	79						

滋賀県における全数報告 感染症の概要(9月)

<結核>

性別:男性 9名、女性 7名
類 型:患者 10名
無症状病原体保有者 4名
疑似症患者 2名
病 型:肺結核 11名
その他の結核 5名

<腸管出血性大腸菌感染症>

性別:男性 7名、女性 6名
年 齢:1～9歳 3名、10～19歳 5名
24歳 2名、30歳、46歳、84歳
血清型・毒素型:
O157・VT1 1名
O157・VT1&VT2 12名

推定感染経路は経口感染 8名、
不明 5名で、推定感染地域はすべて
日本国内です。

<パラチフス>

男性・31歳
推定感染経路は経口感染で、推
定感染地域はスリランカおよびタイ
です。

<ジアルジア症> 男性・51歳

推定感染経路は経口感染で、推
定感染地域は日本国内です。

<クロイツフェルト・ヤコブ病>

男性・85歳
推定感染経路は不明で、推定感
染地域は日本国内です。

*1 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含む

*2 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含む

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といいます。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

9月の概要

<インフルエンザ>

県内における報告はありません。

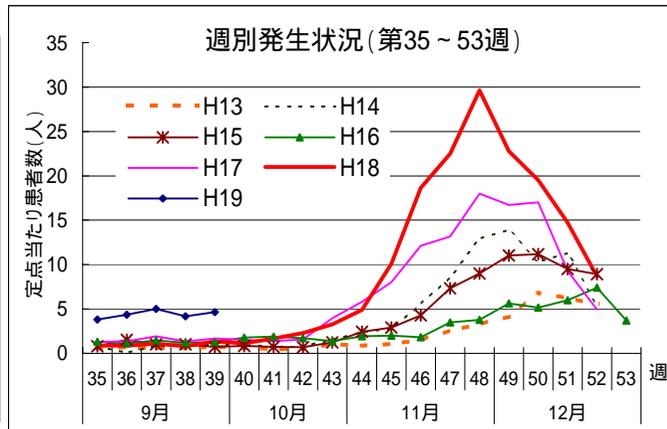
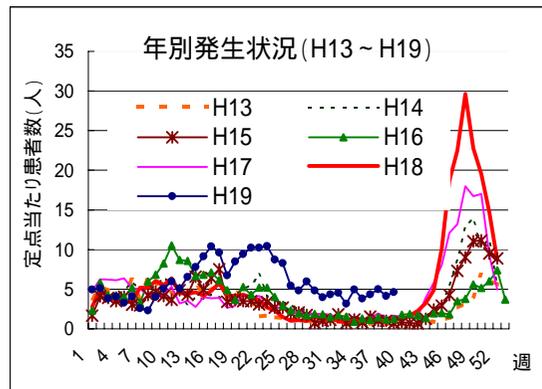
<小児科定点疾患>

先月より増加した疾患は百日咳のみで、その他の疾患については減少(微減)または横ばいとなっていました。感染性胃腸炎における第13週(3/26~4/1)以降の発生状況は、昨年同時期の定点当たり患者数よりかなり多くなっており、先月と同様に東近江および長浜で多くなっていました。咽頭結膜熱は先月よりかなり減少していましたが、主に東近江で先月に引き続き警報が発生していました。ヘルパンギーナも先月より減少していましたが、第36週(9/2~9/9)には高島で警報が発生していました。

<眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月より減少していましたが、高島では増加していました。急性出血性結膜炎の報告はありませんでした。また、基幹定点疾患である細菌性髄膜炎および無菌性髄膜炎は先月より増加し、マイコプラズマ肺炎は減少していました。特に、無菌性髄膜炎は東近江から、マイコプラズマ肺炎は長浜からの報告が多くなっていました。細菌性髄膜炎は大津から報告されていました。

感染性胃腸炎の発生状況



平成19年第13週以降における定点当たり患者数は過去数年の同時期より多くなっていました。特に、平成17年および18年については、第42~44週(10月中旬~11月上旬)に急激な増加がみられました。

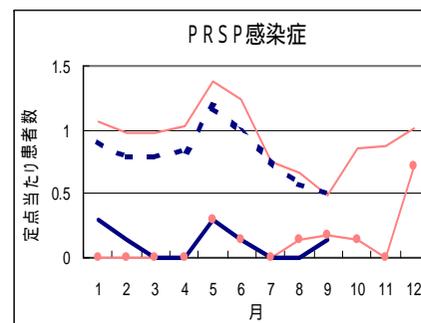
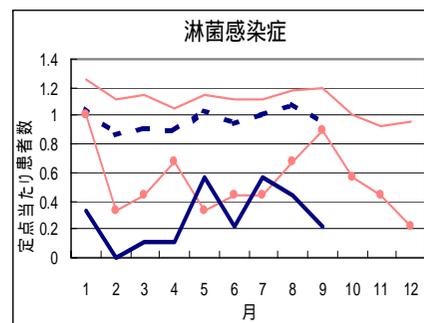
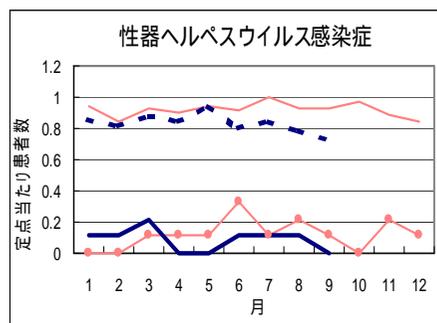
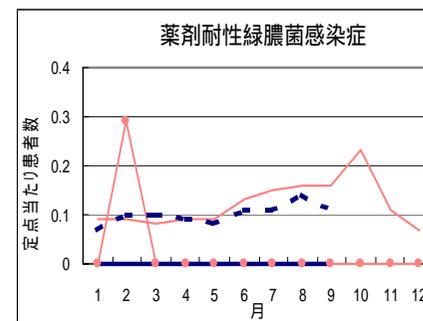
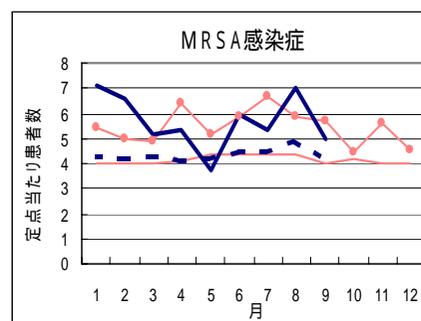
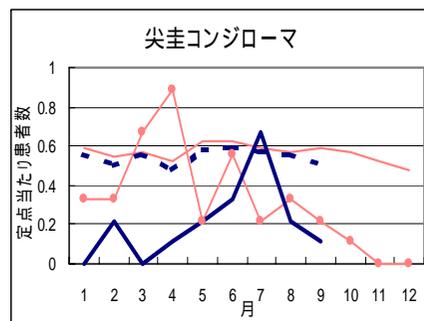
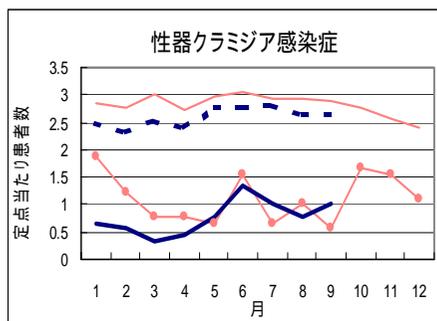
<各定点の対象疾患>

定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳、突発性発しん、ヘルパンギーナ、風しん(三日はしか)、麻しん、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、成人麻しん、クラミジア肺炎(オウム病を除く)

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>) において公表されています。

3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成19年9月)

疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	罹患数	6	5	3	4	7	12	9	7	9				62
	定点当たり	0.67	0.56	0.33	0.44	0.78	1.33	1.00	0.78	1.00				6.89
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	1	1	2	0	0	1	1	1	0				7
	定点当たり	0.11	0.11	0.22	0	0	0.11	0.11	0.11	0				0.77
尖圭コンジローマ	罹患数	0	2	0	1	2	3	6	2	1				17
	定点当たり	0	0.22	0	0.11	0.22	0.33	0.67	0.22	0.11				1.88
淋菌感染症	罹患数	3	0	1	1	5	2	5	4	2				23
	定点当たり	0.33	0	0.11	0.11	0.56	0.22	0.56	0.44	0.22				2.55
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	罹患数	50	46	36	37	26	42	37	49	35				358
	定点当たり	7.14	6.57	5.14	5.29	3.71	6.00	5.29	7.00	5				51.14
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	罹患数	2	1	0	0	2	1	0	0	1				7
	定点当たり	0.29	0.14	0	0	0.29	0.14	0	0	0.14				1.00
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	定点当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0

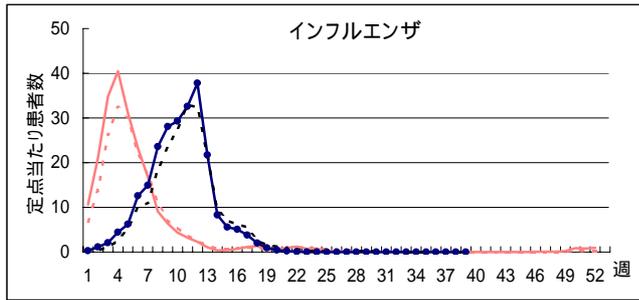


戻る

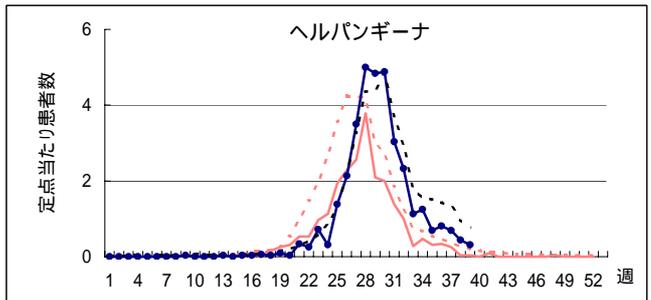
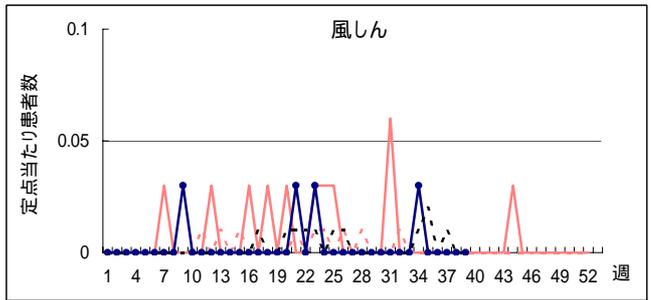
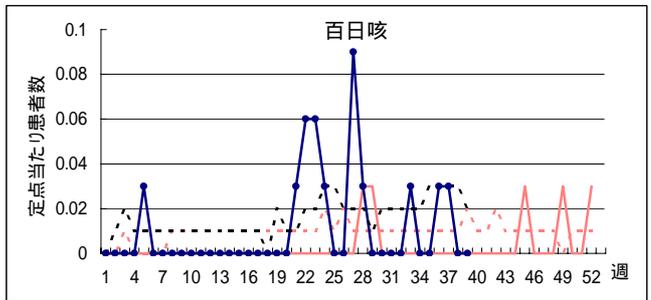
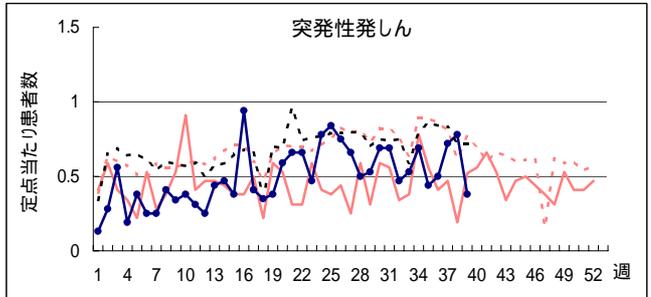
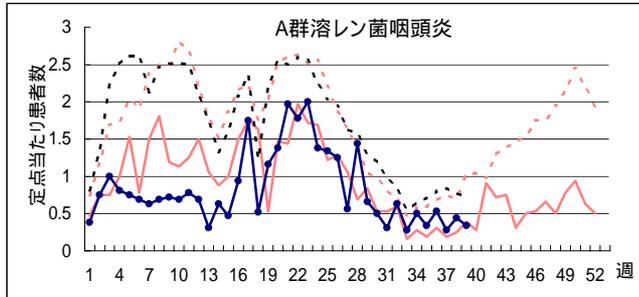
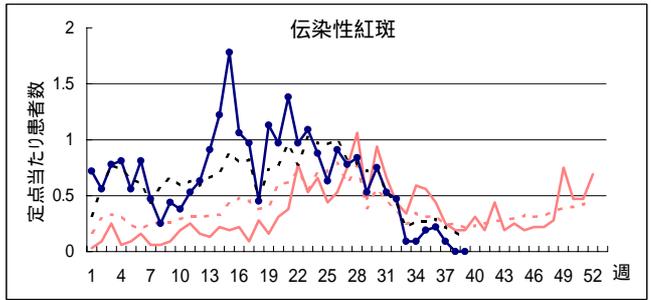
- H18 { 滋賀 ●●●
- { 全国 ●●●
- H19 { 滋賀 ●●●
- { 全国 ●●●

MRSA: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
PRSP: ペニシリン耐性肺炎球菌

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第39週、H19.1.1～H19.9.30)



H18 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H19 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第39週、H19.1.1～H19.9.30)

H18 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19 〔 滋賀 ●—●—●—
 全国 - - - - -

